



桧の温もりに抱かれて暮らす幸福感

丹沢山系で育った桧を贅沢に使った邸宅「桧の香 -hinoka-」。
伝統に培われた和の美と知恵を、今の暮らしのスタイルに上手に活かしたら、
四季の移ろいを愛で、光や風を心地よく感じる
やすらぎの住まいが生まれました。
八寸角の桧の大黒柱、珪藻土の壁、無垢材や天然石などの
自然素材が醸し出す健やかな温もりと味わい。
そして、屋根瓦一体型の太陽光発電でかなえる快適でエコロジカルな生活。
自然の恵みを五感で味わう心豊かな暮らしが始まります。



グッドデザイン賞を受賞しました。

地元神奈川県産の桧材をふんだんに使った「地産地消」。土間・大黒柱・露地といった日本の伝統的民家の長をを活かし、現代の住まい方にリ・デザインした「和の再構築」。露地で冷やされた風が風みちを通り、夏でも自然の涼しさを感じさせる「パッシブクーリング」など。こうした心地よい和風の生活空間を実現した「桧の香」のデザインが高く評価されました。

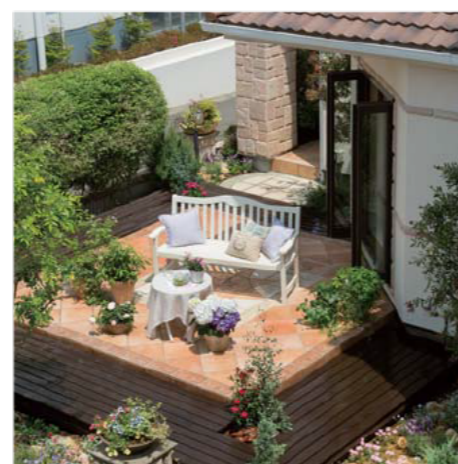


総桧造りの空間。大黒柱をはじめ構造材はすべて神奈川県産の桧です。



ロマンチック・エレガンスが薫る自然素材の白い家

ロマンチック・エレガンスをテーマに、
白いインテリアで優雅に演出した南欧風の住まい。
暮らしやすい動線や、空間を上手に活用した収納など、
女性の目線を活かしたアイデアと工夫を随所に盛り込みました。
ロートアイアンや珪藻土の塗り壁、無垢材のフローリング、
陽光のもとで憩いのときを過ごせる
美しいタイル張りのテラスなど、
自然素材にこだわった潤いのある住空間が
家族の暮らしを健やかに包み、
心豊かな時間をもたらしてくれます。



珪藻土の壁、オークのフローリング、パインの天井、自然素材に包まれたインテリア。2階の円形のホールはリビングを見下ろす書斎コーナーです。



人生を豊潤なものにする風格ある邸宅

近代建築の巨匠“フランク・ロイド・ライト”の設計思想を現代に受継いだブランドが登場しました。

伸びやかな水平線と垂直線が織りなす重厚感がひとときの風格と気品を漂わせます。

流行に左右されない普遍的なデザイン、自然の光や風を活かすことで生まれる心地の良さに、心が満たされ、住むほどに愛着が深まります。

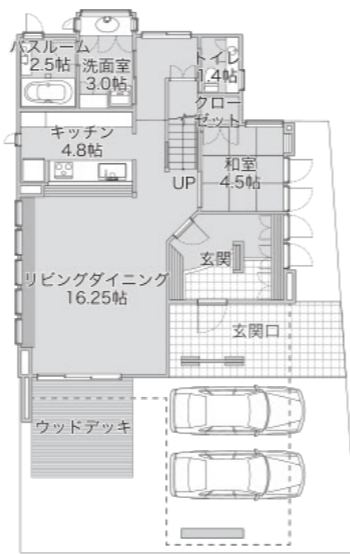
誇り高き人生を謳歌するにふさわしい舞台となることでしょう。



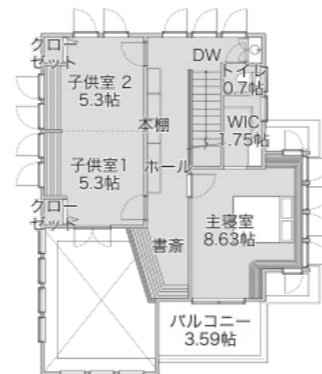
新進建設のプレーリーは、フランク・ロイド・ライト財団に認定された住宅シリーズです



間取り図



1F



2F モデルハウス「プレーリー」床面積

ガレージ	20.96㎡ (6.34坪)
1階床面積	79.68㎡ (24.10坪)
2階床面積	58.32㎡ (17.64坪)
延べ床面積	158.96㎡ (48.08坪)
住居部分	138.00㎡ (41.74坪)



リビング、子供室、書斎コーナーをつなぐ、大きな吹抜けからあふれる陽射しが、家中を自然光で満たします。